

# ISTC総会資料

2005年2月24日

統合グループ

西本卓也(東京大学)

# 方針

- 多様な入出力手段
  - 対話システムの使いやすさ
  - 対象: 情報家電、ウェブ、ロボット
- マルチプラットフォーム
  - Linux (Java) → Windows, Mac
  - 分散処理 → 通信プロトコルの再検討
- 対話記述言語の再検討
- 開発者のサポート

# HMIとしての音声入力

- 利点
  - 操作性(操作効率)
  - 手順連想容易性(思いついた言葉で)
- 弱点
  - 状態理解容易性(発話タイミング・受理状況)
  - 頑健性(誤認識のキャンセルや訂正)

# 使いやすい対話システム

- 音声入力の弱点を補う
- 状態理解容易性の補完
  - 音声合成の品質向上(話者モデルなど)
  - 顔表情・身体動作の利用(視線・頭部動作など)
- 頑健性の補完
  - アレイマイク: 高SNR、音源方向
  - ICタグ: 確実なスイッチ
  - モーションセンサ: 直感的なスイッチ

# 対話記述言語の検討

- VoiceXML: 高レベル記述言語
  - スロットフィリングの1項目単位での記述
  - 情報構造定義(+スクリプト)
- Galatea DM 内部言語(PDOC)
  - 低レベル入出力命令+スクリプト
  - 任意の高レベル記述言語からの変換を想定
- 制御ロジックはスクリプトで記述
  - SALT / XUL: 視覚的要素をタグ化
  - PDOC: 時間的要素をタグ化

# 開発者サポート

- <http://galatea.sourceforge.jp> ... 工事中
  - メーリングリスト(ML)
  - ドキュメント・Wiki
- 各モジュールのライセンスを踏まえて
  - サンプルアプリケーション
  - バージョン管理(CVS)
  - オープンソースコミュニティの支援